



SVTF-¹⁰⁰₂₀₀⁸⁰⁰ GI

用途 焼戻・焼鈍

1室型真空焼戻し炉

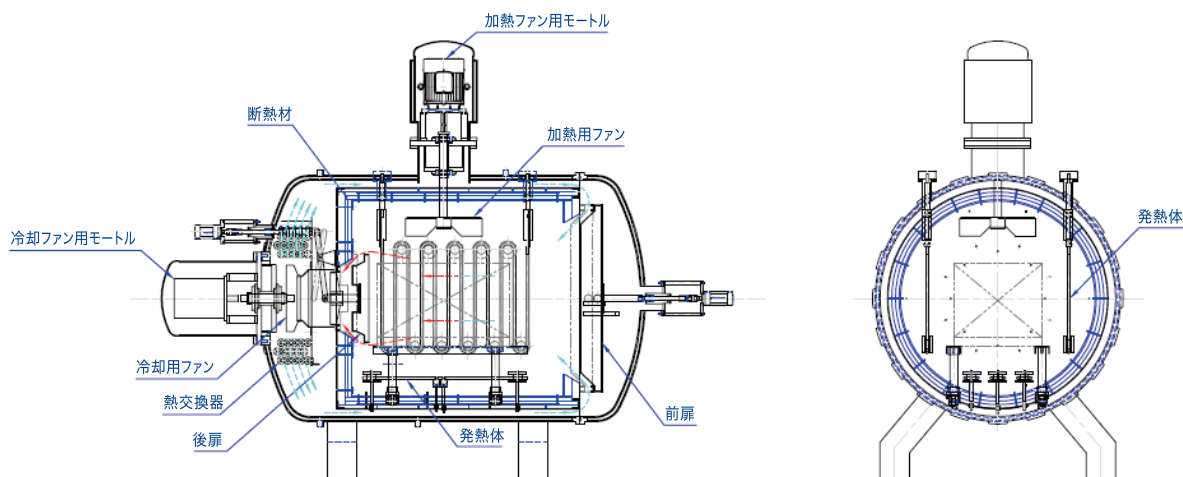
◆ 性能

- 上部に攪拌ファンを設け左右及び底面にヒーターを配置することで温度分布の向上を図った設計。
- 冷却時に前後の加熱室扉を開放し冷却するため冷却速度が速い。
- 冷却時に前後の加熱室扉を開放し冷却をすることでプロセスサイクルの短縮が可能。
- 後部に設置したターボファンと大容量熱交換器により急速冷却が可能。



真空ガス焼戻し・焼鈍し炉

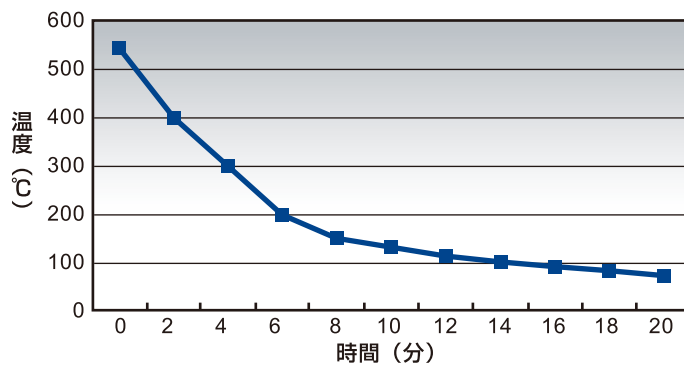
SVTF Series



◆性能

- 使用温度 200~650℃
- 最高温度 700℃
- 温度分布 ±5℃
- 真空到達度 2.66Pa (2×10^{-2} Torr) (空炉、常温、脱ガス後)
- 冷却圧力 1×10^5 Pa (760Torr)
- 使用圧力 1.33 Pa ~ 1×10^5 Pa (10^{-2} Torr ~ 760Torr)
- 排気時間 15分以内 13.3Pa (0.1 Torr)
- 昇温速度 室温から500℃まで30分以内(空炉)
- 冷却時間 550℃から100℃まで20分 N_2 冷却(空炉)

◆冷却性能曲線図



◆仕様

型式	有効寸法	最大処理重量 (kg / チャージ)	設備電力		排気ポンプ	
	幅×高さ×奥行 (mm)		ヒータ (kw)	電動機 (kw)	油回転ポンプ (L / min)	メカニカルブースター ポンプ (M ³ / H)
SVTF-100GI	400×500×600	200	48	10.35	3,000	600
SVTF-200GI	600×600×900	400	60	25	3,000	1,200
SVTF-800GI	800×800×1,200	1,000	120	55	7,000	2,400